

# 令和7年12月 月例市長記者会見

日時：令和7年12月25日(木)午前11時  
会場：郡山市役所本庁舎2階 特別会議室

## 次 第

1 開 会

### 【項目一覧】

(1) 郡山市第7次総合計画 将来都市像 『東北の鼓動 未来を 奏でる「選ばれるまち郡山』について 資料1

2 項 目

(2) 令和7年度郡山市農業賞・農業奨励賞受賞者が決定 資料2

3 質 問

(3) 物価高騰に対する緊急対策 資料3

※質問は、「項目」、「フリー」に分けて行います。

※幹事社

・河北新報 ・福島テレビ

4 閉 会

(4) 郡山駅西口の交通社会実験の結果について 資料4

(5) 大町地区画整理事業「ペデストリアンデッキ」暫定供用開始について 資料5

(6) 県内初となる夜間の認可保育所が開所します 資料6

(7) 県内初！マイナンバーカードの手続きにAIを活用した窓口 DXの推進 資料7

# 郡山市第7次総合計画

## 将来都市像

郡山市は、安積開拓以来の開かれた気風と、多様性を受け入れる懐の深さによって、多くの人々が集い、つながり、まちを創り、東北を代表する都市へと発展を続けてきました。

そして、これからも「選ばれるまち」であり続けるために、こども、若者、子育て世代、高齢者、障がいのある方まで、すべての市民が学び、働き、挑戦し、笑顔で暮らせる環境づくりを進めていきます。

将来都市像の「東北の鼓動」には交通・経済の拠点として、東北に活力を送り出してきた本市のポテンシャルを再確認し、鼓動のように力強く躍動するとともに、医療をはじめとする充実した生活環境のもと、すべての市民が健康で生き生きと暮らし続ける姿を想い描いています。

「未来を奏でる」には、脈々と受け継がれる開拓者精神やこれまで育まれてきた豊かな音楽文化のもと、未来への新たな創造の響きを奏でていくという意思を表現しています。

「選ばれるまち」の合言葉とともに、市民一人ひとりが主役となり、それぞれの個性と可能性が輝く郡山を、未来を切り拓く世代とともに創り上げることが、私たちの目指す都市像です。

## 東北の鼓動

## 未来を奏でる

## 「選ばれるまち」

## 郡山



## 令和7年度郡山市農業賞・農業奨励賞受賞者が決定

本市農林水産業の振興と発展に貢献された方を表彰します。



【令和6年度郡山市農業賞・農業奨励賞表彰式】

## ■農業賞：2名（敬称略・順不同）

氏名	住所	主な生産（活動）内容
池澤 吉雄	安積町	生産基準が日本一厳しいお米「ASAKAMAI887」を生産し、令和2年から毎年合格している。また、福島県オリジナル品種の「福笑い」も栽培、生産基準をクリアしており、県ブランド米の生産振興にも取り組まれている。また、ASAKAMAI887生産部会監事、認定農業者協議会副会長などを務められ、地域の先導的役割を果たし、農業の振興に尽力されている。
池上 慎一郎	安原町	トマトやキュウリを中心に多品目野菜を栽培し、有機肥料を中心とした施肥や化学肥料・農薬の使用低減を行っている。また、郡山市農業委員を務められており、農地の適正利用の推進や担い手への農地集積など地域農業の課題解決に取り組むとともに、郡山市青年農業士会会長、福島県青年農業士会副会長を務め、技術交流や次世代の育成に積極的に取り組まれている。

## ■農業奨励賞：1団体（敬称略）

団体名	主な生産（活動）内容
福島県立湖南高等学校	令和2年に地域と学校が一体となり課題解決に向けて取り組んでいくコミュニティ・スクールに指定されたことをきっかけに、総合的な探究のカリキュラムの一環として、「蕎麦プロジェクト」や「米粉大作戦」を開始した。地元農家の協力を得ながら、全校生徒でそば、水稻の栽培をし、収穫したそば・米を使ったレシピ開発や情報発信を行っている。また、地元イベントや県外のイベントに出展し、レシピ開発したパウンドケーキなどを販売するとともに、湖南高校地域探究部（そば部）による「蕎麦打ち実演・販売」を行うなど、地元農産物の魅力を県内外に発信している。

## ■表彰式日程

令和8年1月13日（火）午後1時30分 市役所特別会議室

物価高騰から暮らしと経済を守る緊急対策①

26億1,292万円

財源区分：国（10/10：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）

## ☆ 市民・事業者への幅広い支援

## 水道料金等負担軽減事業

家計・経営支援

市民の暮らしの支援と事業者への物価高騰負担の軽減を図るために、幅広く全ての市民・事業者を対象として、水道料金（簡易水道料金を含む）のうち、準備料金（基本料金）半年分（6か月分<3回の徴収分>）を免除する。

※給水区域外の世帯に対しては、「家計支援給付金」を支給する。

13億 1,662万円

全ての水道契約者（官公署を除く）

水道料金（準備料金）半年分 免除

参考【免除料金（半年分）】

口径13mm：6,360円、口径20mm：17,220円

（簡易水道 口径13mm：3,780円、口径20mm：10,320円）（上下水道局・政策開発部等）

郡山市

対象

全水道契約者（約140,000戸）

開始時期

令和8年6月頃

国・県の主な緊急対策

国

ガソリン 1.2万円/1世帯  
電気・ガス 7千円/3月  
所得税 2~4万円程度  
重点支援交付金の拡充

県

省エネ家電 5千pt~4万pt  
LPGガス 2千円/1世帯  
旅行割引 3千円

## ☆ 個人・家計等の生活者支援（重点支援）

## 住民税非課税世帯への給付事業

5億 6,000万円

住民税非課税世帯

1世帯あたり 1万5,000円 支給

郡山市

対象

約30,000世帯

支給時期

令和8年6月頃  
(保健福祉部)

国・県の主な緊急対策

基礎自治体としての  
効果的な支援策

## 高齢者（75歳以上）世帯への給付事業

2億 8,500万円

75歳以上高齢者世帯

1世帯あたり 1万5,000円 支給

対象

約15,000世帯

支給時期

令和8年6月頃  
(保健福祉部)

年金生活者等、高齢者の生活を守るために、75歳以上ののみの高齢世帯1世帯あたり1万5千円を支給する。

※住民税非課税世帯への給付事業との重複給付は、できません。

## 物価高対応子育て応援手当支給事業

12月定例会 議決済

市独自分 2億 3,700万円

対象児童

1人あたり 5,000円 支給

(国2万円と合わせて、2万5,000円を支給)

対象

47,400人

支給時期

令和8年3月～  
(こども部)

物価高騰の影響をより強く受ける子育て世帯を力強く支援するため、児童手当を受給している保護者に対して、国の支給額（児童1人あたり2万円）に加えて、市独自に5千円を上乗せして支給する。

国

物価高対応子育て応援手当の支給 2万円

物価高騰から暮らしと経済を守る緊急対策②

26億1,292万円

財源区分：国（10/10：物価高騰対応重点  
支援地方創生臨時交付金）

## ★ 事業者への支援

## 中小企業等賃上げ支援事業

## 中小企業支援

最低賃金の引上げにより経営への影響が懸念される市内中小企業等を支援するため、県の「中小企業賃上げ緊急一時支援事業」の支給額（労働者1人あたり3万円）に加えて、市独自の取り組みとして1万円を上乗せして支給する。

## 飼料価格高騰緊急対策事業

## 農林業支援

飼料価格の高騰の影響を受ける畜産農家の負担を軽減するため、乳用牛・肉用牛の保有頭数に応じて、1頭あたり4,000円～1万7千円を支給する。

## 酒米高騰支援事業

## 農林業・物産支援

酒米の高騰の影響を受ける市内酒蔵の負担を軽減するため、県が実施する令和7年産米を購入する際の価格上昇分の一部補助に加えて、市独自の取り組みとして1蔵あたり50万円を上限に補助金を支給する。

## 民間児童施設光熱費等支援事業

## 保健福祉支援

原材料価格等の高騰による民間児童施設の運営経費の負担の軽減を図るため、各施設（認可・認可外保育所、認定こども園、幼稚園、民間放課後児童クラブ）に対して、児童数区分ごとに支援金を支給する。

## こども食堂支援事業

## こども支援

物価高騰の影響を受けるこども食堂の経費負担の軽減を図るために、こども食堂運営団体に対して、支援金を支給する。

市独自分 1億 500万円

## 対象事業所

労働者1人あたり **1万円** 支給  
(県3万円と合わせて、4万円を支給)

郡山市

## 対象

約10,000人

## 支給時期

令和8年2月頃

(農商工部)

5,320万円

1頭 あたり	乳用牛	<b>1万7,000円</b>
	肉用牛(肥育)	<b>9,000円</b>
	肉用牛(繁殖)	<b>4,000円</b> 支給

250万円

## 市内酒蔵

1蔵あたり **～上限 50万円** 支給

## 対象

127戸 5,920頭

## 支給時期

令和8年3月頃

(農商工部)

## 対象

5蔵

## 支給時期

令和8年3月頃

(文化スポーツ観光部)

5,200万円

認可・認可外保育所、認定こども園、幼稚園、民間放課後児童クラブ

児童数区分 **12万2,000円～146万9,000円** 支給  
※民間児童クラブ **3万5,000円～4万2,000円**

160万円

## こども食堂

1食堂あたり **1万2,000円～13万円** 支給

郡山市

## 対象

約10,000人

## 支給時期

令和8年2月頃

(農商工部)

国・県

県

賃上げ支援 3万円/1人

特別高圧 ~300万円

交通事業者等 1.5万円～20万円

※ 1台あたり

※ 種別により異なる

県

乳用牛 5,200円

肉用牛 3,050円

養鶏(100羽) 1,950円

養豚 550円

※ その他に農業水利施設、漁業者、清酒事業者等への支援あり

国

医療機関

※ 別途経営改善支援有

介護施設 賃上げ支援

最大 月1.9万円/1人

(半年分)

県

医療機関 10～200万円+α

薬局等 ※ 種別、病床数により異なる

福祉・保育施設、学校

1.6～47.9万円

※ 種別、定員により異なる

## ■調査結果

### (1) 臨時乗降場の利用台数 905台

- ①郡山駅西口ロータリー 累計886台 最大106台/日【11/16(日)】
- ②郡山駅西口駐車場(市営) 累計 7台 最大 2台/日【11/11(火)・11/16(日)】
- ③郡山駅東口の市道 累計 12台 最大 10台/日【11/29(土)】

▼表1 西口ロータリーの混雑時の利用台数(金曜日、単位:台)

箇所	10/24 (金)	11/14 (金)	11/21 (金)	11/28 (金)
既存乗降場	622	681	731	—
①臨時乗降場(西口ロータリー)	—	96	91	
(西口ロータリー合計)	622	777	822	
②臨時乗降場(西口駐車場(市営))	—	2	0	
③臨時乗降場(東口市道)			1	0

※16-21時の利用台数。灰色着色は社会実験実施なし。

※既存乗降場利用台数の計測は金曜日のみ。

実験前

利用台数32%増加



▲図1 西口ロータリーの利用台数(一般車)  
※16-21時

### (2) 西口ロータリーの利用時間(一般車・19時台)

▼表2 西口ロータリーの利用時間

	利用時間 (平均)	15分以上の 利用割合
10月24日 (金・実験前)	13.6分	44%
11月14日 (金・実験中)	5.8分	8%
11月21日 (金・実験中)	7.1分	13%

利用時間が  
52%短縮

滞在15分以上の車両が  
大幅に減少

※利用時間:郡山駅西口ロータリーへ入ってから出るまでの時間

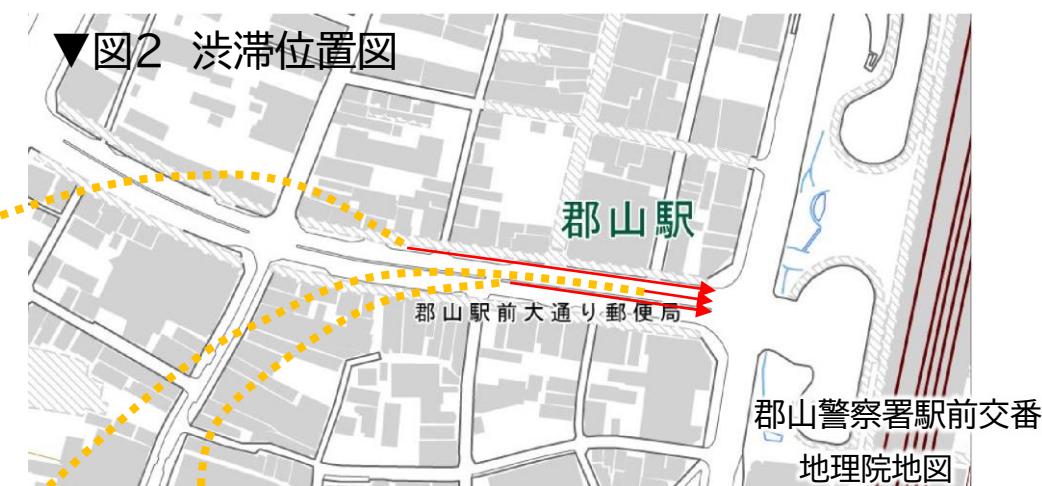
## (3) 西口ロータリーの渋滞の長さの変化

▼表2 最大の渋滞の長さ(主要地方道郡山停車場線)

	10/24(金)	11/14(金)	11/21(金)
最大渋滞の長さ	150m(20時台) (直進流入)	40m(19時台) (直進流入)	100m(19時台) (直進流入)

実験前

平均70m(53%減少)



# 交通社会実験のアンケート結果について

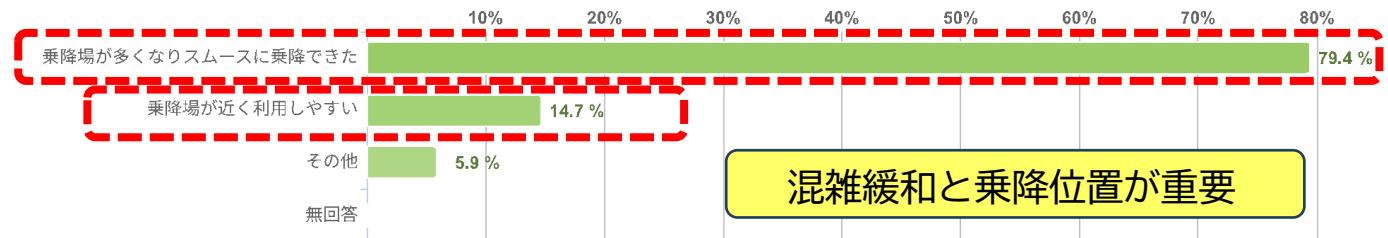


(4) アンケート結果(抜粋)配布数 697票、回答数 199票、回収率 28.5%

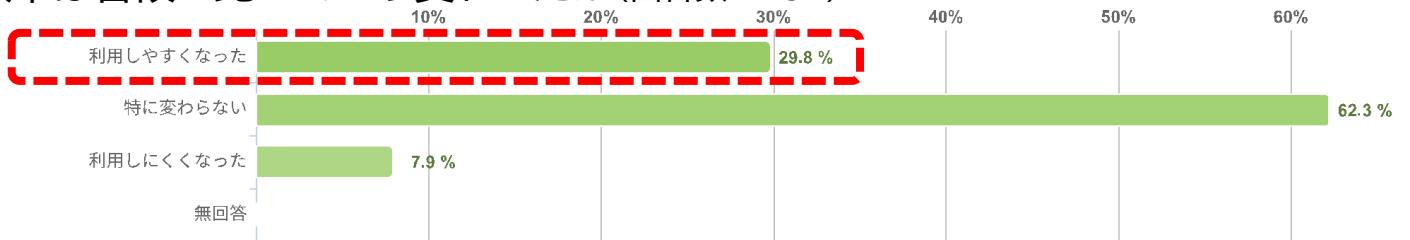
・臨時乗降場はあったほうが良いか(回答数=36)



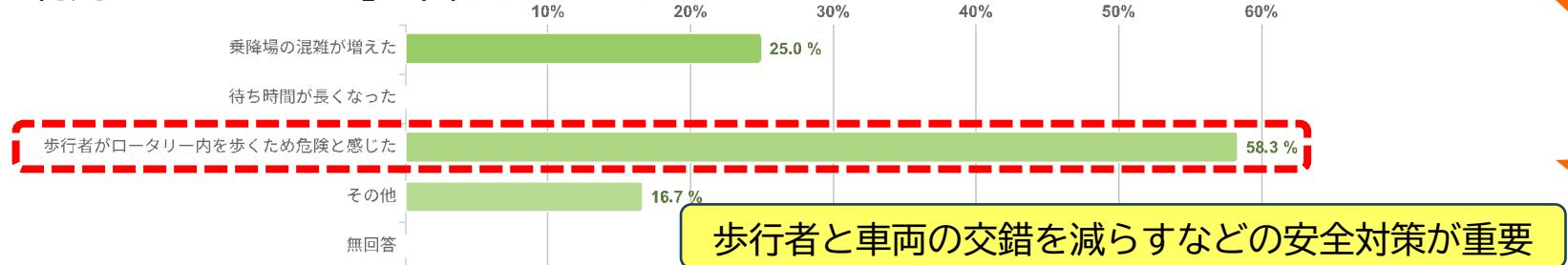
・「あったほうがよい」理由(回答数=34)



・社会実験中は普段と比べてどう変わったか(回答数=151)



・「利用しにくくなった」理由(回答数=12)



(5) 交通社会実験のまとめ(3つの傾向)

- ① 乗降場の増設(6台分)は、渋滞軽減に一定の効果があった
- ② ロータリー混雑時であっても、乗降場が離れていると利用はほとんどなかった
- ③ 長時間の乗車待ちの車両が、渋滞要因のひとつ

・利用頻度



週1回以上の利用が半数を超える

「あったほうが良い」と答えた方が約9割

「スムーズに乗降できた」「乗降場が近い」と答えた方が合わせて約9割

「利用しやすくなった」と感じた方が約3割

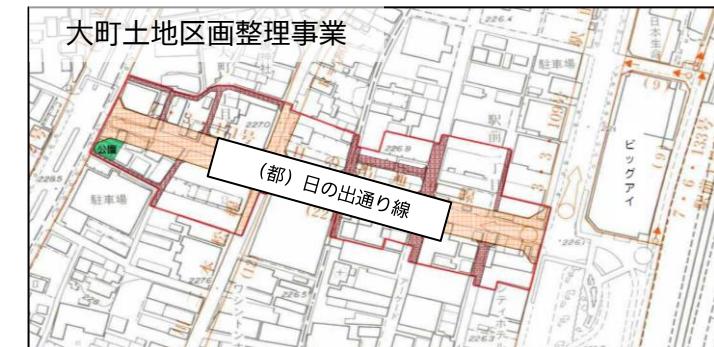
“歩行者が危険”と感じた方が約6割

# 官民連携により郡山駅前周辺の更なる活性化が図られます

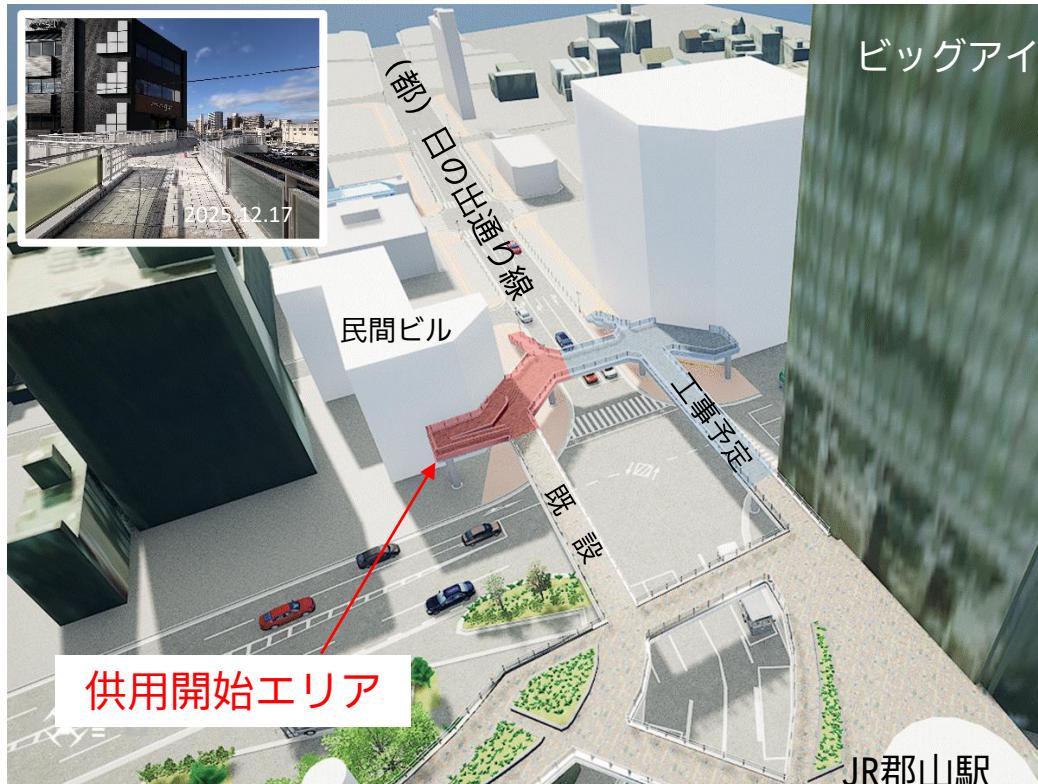
- 大町土地区画整理事業の「ペデストリアンデッキ」につきまして、令和7年12月26日午後1時（予定）から暫定的に供用開始します。
- 民間ビル内のエレベーターとペデストリアンデッキを連結し回遊性と円滑な移動を確保します。

## 【目的】

- ・郡山駅利用者や周辺施設利用者の安全な移動の確保
- ・郡山駅前周辺における通行人の動線の改善
- ・冬季を迎える中での利便性向上への早期対応



## 【供用開始エリア】



【民間ビル内  
エレベーター利用時間】  
午前6時から  
午前0時まで



# 県内初となる夜間の認可保育所が開所します

- 保護者の多様な働き方や保育ニーズに対応するため、県内初となる夜間保育を提供する認可保育所が開所します。
- 認可保育所設置基準(※)に則した運営により、子ども一人当たりの面積の拡充や給食の提供など、子どもたちにより充実した保育を提供します。
- 夜間においても、保護者が安心して働くことができる環境づくりを推進します。

※ 国の「児童福祉施設の設置及び運営に関する基準」を基に制定した「郡山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例」に規定されている基準

## 施設概要

開所予定日	令和8年1月1日（木） ※実際の保育提供開始日は1月5日（月）となります。
施設名	ユーパロ室ノ木保育園ユーパロ中町分園 (所在：中町11-5 やまのいビル3F、電話：024-925-1539) ※認可外保育施設から認可保育所分園への移行
設置法人	有限会社ユーパロ 代表取締役 高橋 晃一 氏
開所日時	月曜から土曜日（日曜日、祝日及び年末年始は休所日） 11:00～22:00（翌日2:00まで延長保育を行います。）
定員	20名
入所方法	市保育課への入所申込みが必要になります。



## 夜間保育所とは

夜間保育所は、夜間に勤務する保護者を支援するだけでなく、子どもの夕食・就寝といった家庭的な生活習慣を整えることも目的としています。認可の夜間保育所は全国に74施設あり、福島県内では初、東北地方では青森県八戸市内の2施設に続き、3施設目となります。  
(出典 こども家庭庁 令和6年度延長保育等実施状況調査結果（令和6年4月1日現在）)

# 県内初！マイナンバーカードの手続きに AIを活用した窓口DXの推進



令和7年12月 月例市長記者会見  
資料7 市民部マイナンバー活用課

AIを活用した窓口案内及び申請書の記入を補助する仕組みを導入することで、窓口の対応時間、市民・職員の負担を削減するとともに、行政サービスの利便性向上を図ります。

## 1 対象とする申請書や案内について

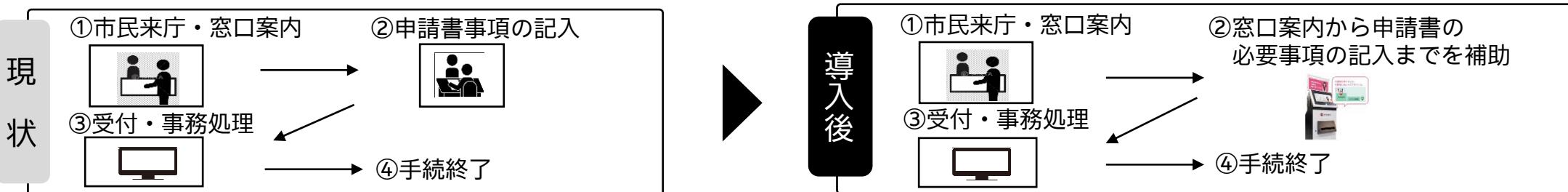
### (AIを活用した窓口案内)

来庁した申請者に対して、AIが手続きの方法等について、会話による質疑等で案内を行います。

### (申請書記入補助)

マイナンバーカードを利用して申請書の記入の負担を軽減します。

## 2 導入前後のイメージ



## 3 スケジュール

AIを活用した窓口案内	R8.1.14(水)～	
申請書記入補助		R8.2.2(月)～

この仕組みを導入することにより

- ✓ 窓口案内の効率化
- ✓ 1人あたりの手続き（来庁～帰庁まで）時間の短縮  
(15分から10分に5分短縮の見込み)

マイナンバーカードの手続きで、AIを活用した窓口案内と申請書記入補助が  
一体化したシステムの導入は**県内初**